

『理学療法の探究』投稿・執筆規定

1. 本誌の目的

公益社団法人愛媛県理学療法士の学術誌として、理学療法および関連領域における研究発表や実践報告の場を提供することを主な目的とする。

2. 投稿論文の種類

①原著：新規性および独創性があり、明確な結論を示した論文。

②症例報告：症例の治療および経過などについて論理的に提示し、考察を行ったもの。

③活動報告：統計学的または質的方法を使用した調査ではなく、例えば、地域や組織における啓発活動または教育的活動等の紹介を取扱う。

④その他：システマティックレビュー、総説、特別寄稿等、編集委員会で掲載が適切と判断された論文や記事。編集委員会は投稿を依頼することができる。

3. 投稿者の資格

本誌への投稿は、原則として本会の会員に限る。ただし、本会に寄与する論文であれば会員外の投稿も受理する。

4. 投稿原稿の条件

投稿原稿は、他誌に発表、または投稿中の原稿でないこと。本規程および執筆規定に従って作成すること。

投稿原稿は、タイトルページ、要旨（著者名、所属は不要）、本文、文献、図表、図表の説明で構成する。本文には、表紙を含めページ数を必ず記入する。

投稿原稿にあたっては、公益社団法人愛媛県理学療法士の「論文および学会・研修会等での発表における患者プライバシー保護に関する指針」を遵守すること。

JIS第1,2水準で規定されている以外の機種依存文字(①、②、vii、 π 、 m^2)や半角カタカナ、装飾文字は使用しない。句読点は「、」および「。」を用いる。

タイトルページには希望論文種類、論文題名、ランニングタイトル、著者名、所属機関、所属住所と英文の題名、図表枚数、原稿文字数(図表含む)、key words(日本語とその英語を3つ)、責任著者の電話・FAX番号とE-mailアドレスを記載する。

・論文題目：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。なお、30字以内のランニングタイトル(簡略標題、論文題目短く

したもので、さらに主題に絞り込んだもの。論文題目が30字以内であれば同じでもよい)を記載する。

・著者名：著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最低限に記載する。

・key words：標準的な単語を使用する。理学療法あるいはリハビリテーション関連の用語集を活用すること。

・要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」について項を分けて400字以内で記載する。また、原著以外の論文の種類においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。250語以内の英文要旨のある論文の投稿も受け付ける。英文要旨での投稿の場合はNative Speakerによる英文校正のチェックを受けた後の投稿を原則とする。

・原稿の規定分量

原著は本文、文献、図表と図表の説明を含めて文字数9600字以内。症例報告、活動報告は5000字以内を原則とする。その他は本文、図表と図表の説明を含めて8000字程度を原則とする。図表は1個を400字に換算する。

・本文：本文は原則以下の項目に沿って構成すること。ただし、研究論文(原著)以外の記事の種類の記事においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。

①はじめに(序論、緒言)

研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性の明記などを記述する。

②対象および方法

用いた研究方法について第3者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。

③結果(成績)

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは検証、追試を行いやすいように図(グラフ)よりも表にして示す方が望ましい。

④考察(分析)

結果の分析・評価、今後の課題、などを記述する。

⑤結論

研究で得られた結論を簡潔に記述する。

⑥利益相反

利益相反の有無について記載する。

⑦謝辞

著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞

に記載する。

⑧文献：引用文献のみとする。

⑨図表

JPG, GIF, EPS, TIFF, AI および PSD フォーマットを推奨する。パワーポイント (PPT (X)) 等、複数ページにまたがるファイルの場合、それぞれの図・写真の中に番号を記入する。なお解像度は 300dpi 以上とし、そのまま印刷可能な明瞭なものとする。希望サイズがあれば明記する。図 (写真) 表は原則としてモノクロとし、図の説明は別紙に記入する。

図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に、それぞれ一連番号をつける。グラフィック表現および写真は図に含める。図の番号および表題は図の下に、表の場合は表の上につける。表は必要がない限り縦線を使用しないこと。表については標準的なフォント (MS 明朝, MS ゴシックなど) を用いた Microsoft 社の Excel での作成を推奨する。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり、投稿時に許可書を提出すること。図表の説明 (キャプション) は図表の後に頁をあらたにして記載すること。CD-R に保存したデータとして投稿すること。

学会で発表した抄録を論文化する場合は、その旨を本文最後に記載すること。

(例：本論文の要旨は第〇回〇〇学会にて発表した。)

⑩文献

引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名、論文題目雑誌名、西暦年号、巻、頁 (最初-最終) の順に書き、単行本の場合は著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、西暦年号、頁を記載する。文献名の省略は米国国立医学図書館 (註 1) の方法にしたがうこと。引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合は最初の 2 名を記載する。

[例]

森川真也, 玉利光太郎, 他: 生活空間の短期的変化と予測因子の抽出 - 通院・通所リハビリテーションを利用する低活動高齢者を対象とした小規模多施設研究 -. 理学療法学. 2015; 42 (6): 494-502.

Addington WR, Stephens RE, et al.: Assessing the laryngeal cough reflex and the risk of developing pneumonia after stroke: an interhospital comparison. Stroke. 1999; 30: 1203-

1207.

信原克哉: 肩 - その機能と臨床 - (第 3 版). 医学書院, 東京, 2001, pp. 156-168.

Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp. 97-112.

木口大輔: 造血細胞移植におけるリハビリテーション, チーム医療のための造血細胞移植ガイドブック. 日本造血細胞移植学会, 造血細胞移植コーディネーター (HCTC) 委員会 (編), 医薬ジャーナル社, 大阪, 2018, pp. 113-121. 厚生労働省ホームページ 平成 25 年度国民健康・栄養調査報 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyou/h25-houkoku.html> (2020 年 3 月 4 日引用)

5. 投稿承諾書

著者の論文への責任および著作権譲渡の確認のため、別紙の投稿承諾書に自筆による署名を提出すること。

6. 利益相反

利益相反の可能性のある事項 (コンサルタント料, 株式会社所有, 寄付金, 特許など) がある場合は本文中に記載すること。なお利益相反に関しては愛媛県理学療法士会が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守すること。

7. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、愛媛県理学療法士会に属する。また、本誌に掲載された論文はオンライン公開される。

8. 研究倫理

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針 (註 2) に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。

また、研究にあたり、所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関、役職者の承認を得ることを必須とし、倫理審査委員会名および承認番号 (または承認年月日) を必ず記載すること。なお、倫理審査委員会より承認の非該当となった場合には、その旨を記載する。

9. 原稿の採択

原稿の採否は複数の査読者の意見を参考に編集委員会に

において決定する。査読の結果、編集方針にしたがって原稿の修正を求めることがある。また、必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正を行うことがある。

10. 校正

著者校正は原則として1回とし、誤字脱字を除く文章および図表の変更は原則として認めない。

11. 掲載に関する費用

本会会員の投稿で規定の分量の範囲内までは無料掲載するが、規程の分量を超過した場合もしくは会員外からの投稿には1頁あたり10,000円の掲載料を著者が負担する。

12. 投稿方法

原稿は電子媒体（CD-R）での投稿を原則とする。

別紙「理学療法の探究」投稿承諾書を同封する。

投稿にあたってはチェック表で書類の不備がないかどうかを確認しチェック表を同封する。

送付する際には、簡易書留で下記の宛先に郵送する。

原稿送付先・連絡先

愛媛県立中央病院リハビリテーション部

担当：青木卓也

〒790-0024

愛媛県松山市春日町83番地

TEL：089-947-1111

E-mail：gakuju@epta.jp

原稿は原則として返却しないので、コピーを必ず保存すること。

13. 別刷

著者の実費負担により別刷を作成できる。

註1：米国国立医学図書館

http://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform_requirements.html

註2：厚生労働省：研究に関する指針について

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenyujigyou/i-kenkyu/index.html)

[hokabunya/kenyujigyou/i-kenkyu/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenyujigyou/i-kenkyu/index.html)

(2020年11月10日、愛媛県理学療法士会 理事会承認)